

ガンバレ！！いしかわ農業の担い手たち！ ～新規就農者からのメッセージ～

「3Kがいいんです！」
～かがやくあせが・きもちいーぜ・けんこうてきな生き方だ！～

プロフィール

しまぎ あやの
株式会社 林農産 島崎 綾乃 (29歳)

石川県金沢市生まれ
石川県農業短期大学(現:石川県立大学)
生物生産学科卒業
卒業後、製薬会社に勤務
平成12年 (株)林農産で研修
アルバイトとして1年間働く
平成13年12月 (株)林農産に就職
平成19年 結婚(小松在住)

現在の担当: 餅加工及び水稲作業



就農してから現在まで

入社してから、1年を通して、水稲栽培や餅加工を行っています。水稲栽培では、オペレーターは男性が殆どなので、下仕事(田植え時ならば苗の補充等)を主に行っています。一方、餅加工では全ての工程を担当しています。

その他、かきもちなどの加工品をスーパーの直売所や地域のイベント等へ出品したり、時には店番をしたりすることもあります。

(株)林農産 = 『林さんち』をご存じの方には末永く愛していただけよう、また、聞いたこともないお客様には『林さんち』の『個性豊かな商品』の魅力を知ってもらえるようにアピールしていきたいと思っています。

また、市街化で少なくなってきた水田を大切にお世話させて頂き守っていききたいと思っています。

就農のきっかけから実際の就農まで

農業短期大学に入学した理由は『県立だから』という単純なものでした。だから、最初は農業に特別興味を持っていたわけではなく、なんとなく学生時代を過ごしていた気がします。

卒業後も、夢や目標も持たず製薬会社に就職し、建築会社や工務店相手にシロアリ駆除剤の営業を淡々とこなしていましたが、それが自分のやりたい仕事なのかという疑問がふと湧いてきて『自分に正直に、生きている実感が得られる仕事をしたい』と思うようになりました。

今、思うと不思議なのですが、

『自然の中で体を動かして仕事をしたい』 = 『農業』
へとイメージが繋がったのです。

(株)林農産との出会いは、自分で農業をやるのは難しいと思い、いきなりでしたが農業研修(アルバイト)を直接お願いしに行ったことから始まりました。

タイミングよく、餅加工のアルバイトを募集していた時であり、1年間アルバイトとして研修した後、就職することができました。

将来はこんな農業をめざします！

「農業」を愛する、「環境」をいとおしく思う、健康な「自分」がよい農作物を育てられる、そんな気持ちを持ち続け、農業を通して子供達や自分達が「安心」して過ごせる社会をつかっていきたいですね！

今後就農を目指す人へ

私のように「農業」に対して最初は何も知らなくても、突進しようという気持ちがあれば、いろんな段階を経て、自分への自信や誇りを持って農業をやっていく事ができるようになると思います。

「農業」はなくてはならないもの！
「農業」がみんなを救う！

そんな思いを持った一員が増えれば幸せですね！

農林事務所所長よりひとこと

取材時は、自分の気持ちに正直に行動し、心は晴々と農業を楽しんでいる感じでした。この道に入ったキッカケを尋ねたところ、実は前の会社を退職後、コンビニにアルバイトが決まっていたが、自然の中で心と体に良い仕事がしたいという思いが募り、思い切って学生時代に見かけた林さんちの門を叩いたとのこと。

そして丁度、餅部門に空きがあって取敢えずアルバイトに入れたというのは人生の岐路に立って活路を見出したというところか。

「窮すれば通ず」を地でいく話で、冒頭の印象に一人納得しました。

今後とも究極で選んだ女の一本道を目もあやに光らせて下さい。 フレーフレー綾乃！